

これからの幼稚園施設の在り方について

～幼児教育の場にふさわしい豊かな環境づくりを目指して～

幼稚園教育要領の改訂、社会状況の変化等に対応するため、「学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議」(主査:上野淳 首都大学東京学長)においてこれからの幼稚園施設整備の在り方と幼稚園施設整備指針の改訂案をとりまとめ(平成30年3月)。

<学校施設整備指針とは>

学校教育を進める上で必要な施設機能を確保するため、施設計画及び設計における留意事項を学校種ごとにまとめたもの。

報告書の概要

第1章 幼稚園施設整備指針改訂の背景

- ・社会的状況の変化(少子化の進展、公共施設の老朽化等)
- ・幼稚園施設をとりまく状況の変化(幼稚園数の緩やかな減少、施設の深刻な老朽化等)
- ・幼稚園教育要領の改訂(育みたい資質・能力の明確化、主体的・対話的で深い学びの実現等)

第2章 これからの幼稚園施設整備の在り方

- **現行の幼稚園施設整備指針に記載された基本的方針及び基本的留意事項は、これからの幼稚園施設の在り方を考える上で、引き続き重要。**
- その上で、幼稚園施設をとりまく状況の変化等を踏まえ「幼児教育の場にふさわしい豊かな環境づくり」「幼児教育の担い手を支え、家庭や地域と連携・協働を促す環境づくり」「その他の施設的配慮」の観点から、これからの幼稚園施設の計画及び設計における**留意事項として充実が必要な7つの視点と幼稚園施設整備指針の改訂内容**を提示。

<幼児教育の場にふさわしい豊かな環境づくり>

- ① 幼児自身の興味や関心に応じて様々な活動が展開される屋内環境整備
▷ 本に親しむ、見て触れて素材の良さや違いを感じることができる施設環境等
- ② 自然との触れ合いや体を使った遊びができる屋外・半屋外環境整備
▷ 自然の中にある音、形、色等に気付くことができる空間づくり等
- ③ 障害のある幼児など特別な配慮を必要とする幼児に対応した施設整備
▷ スロープや手すり、便所のバリアフリー対応等

<幼児教育の担い手を支え、家庭や地域と連携・協働を促す環境づくり>

- ④ 教職員の活動を支えるための施設整備
▷ 職員室を情報交換の場として充実、休憩室をリフレッシュの場として計画等
- ⑤ 家庭や地域等との連携・協働を促す施設整備
▷ 近隣住環境に配慮した配置計画、通園路を様々な体験の場として設定等

<その他の施設的配慮>

- ⑥ 安全を確保しつつ自発的な遊びを誘発する施設整備
▷ 主体性を引き出しながら遊びを通して危険を回避する力を身に付ける環境づくり等
- ⑦ 教育活動の変化に対応できる施設整備
▷ 教育活動の変化や園児の生活習慣の違い等に柔軟に対応できる計画等

第3章 幼稚園施設整備指針の改訂案

参考資料

現地調査概要(幼稚園(7)、幼保連携型認定こども園(6))等